

事務事業評価表（公共施設）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	都市公園管理事業			コード	153201
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 福沢 武雄
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	都市空間の充実	施策	公園の整備
		予算科目	都市公園管理総務費／都市公園維持補修費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		設置条例	岡谷市都市公園条例		

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	都市公園の利用者に、安全で快適に利用していただくとともに、一層の利用促進を図るために、施設の適正な維持管理や老朽施設の改修、修繕を行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	都市公園を安全で快適に利用していただく。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	公益財団法人 おかや文化振興事業団	29年度指定管理料	85,223,000 円
施設における通常業務	市内19都市公園のうち3公園を指定管理者、16公園を地元区等の協力を得ながら市が直接管理。 指定管理の内容：公園の維持・管理・運営、有料施設の使用料徴収、自主事業実施 市管理の内容：公園施設の維持管理全般、使用料の徴収		
事業の実施内容	(29年度に施設で行った運営事業・自主事業など) ・公園施設の維持管理と有料施設の運営管理を、市民ニーズに対応しながら実施した。 ・鳥居平やまびこ公園では、自主事業としてプリンス&スカイラインミュージアムの開館、園内周遊バスの運行、やまびこフェスティバル等を実施して集客に努めた。		
前年度の課題への対応	鳥居平やまびこ公園管理棟屋根及び水車小屋長寿命化工事を、国の交付金を受けて実施した。		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	185	187	187	187
1日の開設時間（時間）	8	8	8	8
年間利用可能時間（時間）	1,480	1,496	1,496	1,496
年間利用実績（時間）	1,480	1,496	1,496	
② 年間利用者数（人）	148,747	157,282	153,097	152,500
有料利用者数	15,196	13,986	13,172	13,000
無料利用者数	131,329	140,500	137,268	137,000
減免措置者数	2,222	2,796	2,657	2,500
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	804.0	841.1	818.7	815.5
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	115,727,085	113,127,133	119,458,795	115,230,000
経常経費	115,257,285	113,127,133	119,458,795	115,230,000
臨時的経費	469,800			
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	123,727,085	121,127,133	127,458,795	123,230,000
前年度比		97.9%	105.2%	96.7%
財源内訳				
一般財源	117,675,495	115,860,241	122,157,393	118,230,000
特定財源	6,051,590	5,266,892	5,301,402	5,000,000
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	5,973,060	5,266,892	5,301,402	5,000,000
⑤ 年間減免措置額	220,140	276,804	260,000	260,000
⑥ 受益者負担割合	5.4%	4.9%	4.7%	4.6%
⑦ 活動一単位あたりコスト	829	770	833	
前年度比		92.9%	108.1%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。 1日あたり利用者数、件数 前年度比 97.3%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。 施設使用料年間収入額 前年度比 100.7%	1	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設が老朽化する中で、誰もが安全で快適に利用できるための施設の維持管理費は増加する。 公園内の樹木の太木化による近隣住民への影響と、維持管理費の増加。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づく、施設のこまめな点検、修繕の実施。 公園の形態、状況に応じた計画的な樹木管理の実施。 	
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B	
13 大規模修繕の予定				
予定事業費	60,000,000	円	予定時期	未定
内容	鳥居平やまびこ公園センターハウス屋根、外壁修繕			